

## 甲南大學紀要 第173号 目次

## (文学編)

## 日本語日本文学科

親と子の別れ……………	廣川晶輝	(一)
—『万葉集』巻五「男子名は古日に恋ふる歌」について—		
明治末期から大正に見る、戸川秋骨の評論・随筆……………	塚本章子	(一三)
—大逆事件・発禁・関東大震災・笑い—		
京阪式アクセント西端姫路市西部若年層の2拍名詞類別語彙アクセント……………	都染直也	3
—姫路市南東部1950年代生まれ、国語辞書記載型との比較をとおして—		
資料 甲南大学方言研究会叢書における		
「言語地図」・「グロットグラム」等収載項目一覧……………	都染直也	9

## 英語英米文学科

『チープサイドの貞淑な乙女』(1613)にみる		
生徒と教師のキアなモーメント……………	杉浦裕子	29
夜空を見上げ、飛行船ではなく星を見る……………	岩井学	41
—アルジャーノン・ブラックウッド『妖精の国の囚われ人』から パーン=ブラックウッド=エルガー『スターライト・エクスプレス』へ—		
キア・センチメンタリズム……………	大谷祐二	53
—「誕生日の子どもたち」における感傷性の意義について—		
寿岳文章と読書……………	中島俊郎	59
位相空間における形容詞の意味 I……………	中島信夫	73
—極性形容詞 (polar adjective) の場合—		
2021年度修士論文要旨……………		81

## 社会学科

未来社会工学試論(1)……………	栗田宣義・向正則	85
—社会工学から未来学を経て向かうべき社会学の進路—		
1960年代、ノッティングヒルにおける		
コミュニティアクションとしての印刷所……………	西川麦子	91
—Notting Hill Pressの「新しい運動」のかたち—		
大学運動部活動の学生スタッフのための Institutional Ethnography (1) ……	関めぐみ	109
—経験記述から見える組織の一員としての「女子マネージャー」—		
インドの大学における「自己語りの社会学」の試みとその意義：		
<i>Hanv Konn?: Re-searching the Self</i> の		
公開・出版の経緯から考える……………	松川恭子	123
2021年度修士論文要旨……………		131

(II)

### 人間科学科

森茂起教授近影

森茂起先生のご退職によせて……………大西彩子	135
森茂起教授略歴および業績一覧……………	137
中学校進学前の不安に関する記述データによる研究……………中島義実・大西彩子・原田克巳	145
——小学校6年生時の記述と中学校1年生時の回想との比較——	

### 歴史文化学科

本土近接離島の連絡船と海事交通文化……………出口晶子	153
——本州・四国の小離島を中心に——	
放牧と焼畑……………中辻享	171
——ラオス山村でのウシ・スイギュウ飼養をめぐる土地利用——	